

再評価調書

事業名		淀川水系 千塚川 通常砂防事業		
所在地		八尾市 神立		
再評価理由		事業採択後、10年間経過した時点で継続中		
事業概要	目的	都市に直接的に土砂災害を及ぼす恐れのある河川または溪流について、砂防施設の整備を促進し、土石流等の土砂災害に備える。		
	内容	砂防堰堤 1基 堤高 14.5m 堤長 78.0m		
	事業費	4.5億円 (内訳) 工事費 2.7億円 用地費 1.8億円		
	維持管理費	—		
	上位計画	大阪府都市基盤中期整備計画(案)		
	関連事業			
事業の進捗状況	経過	計画時の想定	現時点での状況	分析
		事業採択年度 H6 事業着手年度 H7 完成予定年度 H10	事業採択年度 H6 事業着手年度 H7 完成予定年度 H22	用地買収の遅れと工事 進入路について地元調 整に日時を要したた め。
	進捗状況		用地 100% 工事 0%	
	途中段階の 整備効果 発現状況			
事業進捗に 関する課題	工事用進入路の確保について。			

事業を巡る社会情勢の変化	事業目的に関する諸状況	計画時の想定	現時点での状況	分析
		災害発生危険度 土石流危険溪流であり、 渓床には不安定土砂が堆 積しているため、今後の降 雨により土石流の発生 危険性が高い。	災害発生危険度 土石流危険溪流であり、 渓床には不安定土砂が堆 積しているため、今後の降 雨により土石流の発生 危険性が高い。	社会情勢の変化なし。
	地元等の協力体制	市から強い要望があり、 全面的な協力体制を得て いる。	市の全面的な協力あり。 工事用進入路にあたる 土地所有者の理解が得ら れない。	変化なし。

		計画時の想定	備考	現時点での状況（変更点）	分析
事業効果の定量的分析	費用便益分析	計画時点では費用便益分析の手法が確立されておらず、算出できず。	具体的な便益内容 ・人命、財産の保護 受益者 地域住民、府民 算出根拠 国土交通省河川局河川計画課監修 「治水経済調査マニュアル」 国土交通省河川局砂防部 「土石流対策事業の費用便益分析マニュアル」	・ $B / C = 9.65$ 便益総額 $B = 45.5$ 億円 総費用 $C = 4.7$ 億円	
	その他の指標（代替指標）				
事業効果の定性的分析	安全・安心	土砂災害による被害の軽減が図れる。	・受益者など 地域住民	変更点特になし	
	活力				
	快適性				
	その他	（事業毎に設定）			
自然環境等への影響と対策	砂防ダムにより、渓床、渓岸の侵食が防止されるため、堆砂敷より上流の樹木を保全できる。	砂防ダムにより、渓床、渓岸の侵食が防止されるため、堆砂敷より上流の樹木を保全できる。			
その他特記すべき事項					